



緑の映える快適なまち

環境・都市



さらなるごみの減量・

リサイクルの促進

食品ロス削減の取り組み

これまで、人口50万人以上の都市の中で一人一日当たりのごみ排出量最少を10回記録しました。さらに、ごみ減量を推し進めるため、毎週金曜日に冷蔵庫をチェックし、賞味期限や在庫などを確認することや、会食時の「3010（さんまるいちまる）運動」の実施を呼びかけるなど、食品ロスを減らす運動を広げています。

松山方式で塩類リサイクル

平成29年4月から、横谷埋立センターの水処理で発生する塩類を原料に消毒剤（エコ次亜）を製造し、下水処理場



横谷埋立センター エコ次亜設備

協働でまちなかの賑わいを再生

中心市街地活性化

50万都市にふさわしい 都市基盤の整備

JR松山駅周辺整備

JR松山駅を中心に行われている「松山駅周辺整備事業」。約2・4キロにわたるJR予讃線の高架化にあわせて、50万都市の玄関口にふさわしい駅周辺へ整備を進めています。高架化により鉄道で分断されている東西市街地のアクセスを良好にするほか、「土地区画整理事業」で幹線道路や公園を整備し、防災力も強化します。

また、現在の駅前広場を拡張し路面電車を引き込むとともに、西口駅前広場を新設し、利便性を高めます。



一番町大街道口



JR松山駅周辺整備イメージ

笑顔の松山が好きやけん

～笑顔を守り・広げ・つなげる人たち～

私たちは愛媛県内初の環境NPOとして活動を開始しました。きっかけとなったのは、松山市の姉妹都市であるドイツ・フライブルク市への訪問。以降も海外、国内の事例を多く見ており、この経験を生かして、いま、最も力を入れているのは環境教育活動です。主に、児童や学生を対象に年間1,200人以上に、さまざまなテーマで環境教育を行っています。環境保全は行政・企業・市民が一体となって行うことが重要。環境教育により子どもたちに「気づき」の機会を与え、それを広げていきたいと思っています。そして、市民一人一人が環境問題を「自分のこと」として捉えるようになることが理想です。



行政・企業・市民が
一体で環境問題に
取り組もう

NPO法人
エコステーション松山
理事長
金城 正信さん

「自分のこと」として環境を考える松山市へ

